

科目名	教育実習Ⅱ事前事後指導				担当	吉澤 俊・今井 香織・多田 幸子 幼児教育学科教員			
形態	実習	単位数	教育実習Ⅰ、Ⅱ、 事前事後指導で5	開講 時期	2年 前期	実務経験	小中高特での教諭経験あり		
必修	幼免：必修 レク：選択必修				ナンバリング	Y5101	DPとの関連	免1	
授業概要	幼稚園及び幼稚園教諭の役割、実習日誌の意義、部分指導計画及び全日の指導計画について理解を深める。幼稚園での実習で学んだ事柄は事後指導で振り返りを行う。 本授業のなかで、教育実習Ⅱを実施するために必要となる書類の準備、人権の尊重、守秘義務の厳守等、実習生としての心構えの確認を行う。								
到達目標 学習成果	<ul style="list-style-type: none"> 十分な教材研究を行い、部分指導計画を立案することができる 安全・衛生面と環境構成に留意した全日の指導計画の書き方を理解する 子どもの課題を把握し、適切に子どもと関わるために記録が必要であることを理解する 幼稚園教諭としての自己の課題を明確化する 								
授業計画	回	内容							
	1	教育実習Ⅱの意義	教育実習Ⅱの意義・目標・内容について理解する 自己の課題の明確化を図る						
	2	幼稚園及び幼稚園教諭の役割	幼稚園の役割と教育課程、幼稚園教諭の職務について理解を深める						
	3	子ども理解と子どもへの援助	子どもの課題を把握する必要性を理解する 実習記録について理解を深める						
	4	安全・衛生面と環境構成	安全・衛生面と環境構成について理解する 情報機器の活用について理解する						
	5	指導計画の立案と全日（責任）実習	具体的な指導計画を立案する 基礎的技術（話法、保育形態、保育展開、環境構成）を実地に即して身に付ける						
	6	教育実習Ⅱ事後指導①	幼稚園での教育実習についてふりかえりを行い、園からの評価をもとに担当教員の指導を受ける						
	7	教育実習Ⅱ事後指導②報告会	報告会を通して実習によって得られた知識と経験を振り返るとともに、話し合いを通して学びを共有する						
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 十分な教材研究を行い、部分指導計画を立案することができたか 安全・衛生面と環境構成に留意した全日の指導計画の書き方を理解することができたか 子どもの課題を把握し、適切に子どもと関わるために記録が必要であることを理解することができたか 幼稚園教諭としての自己の課題を明確化し、実習に結びつけることができたか 								
評価方法	その他 100%（ガイダンスおよび事前事後指導への参加態度と課題） *以上が「教育実習Ⅱ事前事後指導」の評価である。教育実習は、「教育実習Ⅰ・Ⅱ事前事後指導」、「教育実習ⅠⅡ」で構成されるため、それぞれの評価の総合点を抽出したものが「教育実習」の評価となる								
フィードバック 方法	小テストと課題等は、採点後に授業中に返却し、講評する								
アクティブ ラーニング	グループワーク								
教科書	「上田女子短期大学実習ガイドブック」 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針原本』内閣府・文部科学省・厚生労働省、平成29年6月告示 岩崎淳子他『教育・保育課程論 書いて学べる指導計画』萌文書林、2015年								
参考書	担当教員の指示に従うこと								
履修条件	本授業を履修するためには、「教育実習Ⅰ」を終了していることが必要である。また、本学幼児教育学科において定める実習実施基準が、「教育実習Ⅱ」実施の条件となる。事前指導すべてに出席することで、「教育実習Ⅱ」の実施が可能となる。								
授業外学習	各回の授業で、予習と復習の内容を指示する								
オフィスアワー	各担当教員のオフィスアワーを確認すること								